

The Reminiscence of Exellia NG+1

鳴動する魂魄

作成レギュレーション

基本概要

- ・ 経験点：22000 点（新規）、23500 点（継続）
- ・ 資金：26500G（新規）、29500G（継続）
- ・ 名誉点：500 点
- ・ 成長回数：36 回

各種制限について

- ・ ヴァグランツ禁止
- ・ 蛮族 PC 禁止
- ・ ソード・ワールド 2.0 / 2.5 標準流派への入門、及び秘伝の習得・使用の禁止
- ・ 武器防具強化禁止
- ・ 《武器習熟 A / 盾》《武器習熟 S / 盾》の削除、及び装備可能ジョブの制限
- ・ レベル制限 4～5
- ・ 成長回数が 10 以上のときに、その成長回数の 60%以上の偏重割り振り（極振り）禁止
（※改定：50%→60%）

導入 ～未来を切り拓く『意志』～

君達は 3 日間の休養の後、ブルーアウト樹海を抜けた先、ダジボス山嶺へと至る道の入口に現れた『奈落の魔域』へ挑もうとしていた。

君達は、エクセリアの言葉を思い返す。

エクセリア

『あるときは…斯様なように、弟子に対する最大級の試練として立ちはだかる者。

「祝福無き者」の末席、星を照らす恒星の座に在りし者、それが私の一側面だ』

君達には、この魔域がただの魔域ではなく、エクセリアが描き出した世界であることに薄々勘付いていた。

（※GM メモ：RP 待機）

エクセリアが描き出した、「記録の一端に記された世界」。
君達は、この幻想へ挑むことになる。

魂魄鳴動 スターダスト・イルミネイト

エクセリアの声

『ここに私は、深淵の中、星を束ねる羊飼いの年代記を記す。

あなたが歩み続ける限り、運命は集うだろう。喩え今は天地に隔たれ、心隔たれていようとも。

第十四の座——その名を、アゼム』

星海浅層：彷徨う魂の虚底

君達が踏み入れたそこは、魔域にしては美しかった。

魂たちが揺蕩い、青い海のような領域。

人はそこを、『星海』と呼んだ。

(※GMメモ：RP待機)

エクセリアの声

「始まりの火に連なる者達は、新たな時代を望まなかった」

亡者兵

「火のない灰が来たぞ！」

「殺せ！奴に使命を果たさせるな！」

記録管理サービス

『異物を検知しました。ただちに排除します』

敵：ソルジャー・オブ・レコード（純エネルギー）×5

(※GMメモ：RP待機)

星海に漂う悪意を捌きながら、君達は前へと進む。

しかし、特大級の悪意が君達の前に現れた。

エクセリアの声

「時代の存続を望む人々は、別世界より刺客を送って妨害した。

己の望む世界が、火の時代だったが故の行動だ」

**敵：マレヴォレンス・オブ・レミニセンス×1、ソルジャー・オブ・レコード（炎）×2、
バーサーカー・オブ・レコード×1**

更に先へと進むと、より一層強い憎悪があった。

エクセリアの声

「折れぬ巫女に、人々は問いを翳した。「なぜ世界を破壊しようとするのか」と」

使命を見失った灰

「何故お前は火継ぎを終わらせるために戦うんだ！時代が続いたっていいじゃないか！」

記録の中のエクセリア

「人の未来は、新たな人々が紡いでいくべきだから」

敵：固執の氷龍

記録管理サービス

『抗体プログラムを実行します』

『異物の残存を確認。グレード 3 抗体プログラムを実行します』

敵：スターダスト・アサルト・ウォリアー、スターダスト・チャージ・ウォリアー

エクセリアの声

「そして記録者は、火の時代を終わらせた」

敵がいたその広間の中央に、魔力の奔流が生じる。

そこから、先に進めそうだ。

星海中層：真なる人の虚構

エクセリアの声

「火の時代の後に訪れた、真なる人の時代。そこではモノやイノチの創造が広く行われていた。人々はその神秘に、何の疑念も抱かずに創造魔法を使い続けた」

(※GMメモ：RP待機)

記録管理サービス

『異物を検知しました。ただちに排除します』

敵：ハルピュイア・オブ・レコードx3、メデューサ・オブ・レコードx1

光に佇む淑女

「しがらみは断たれよ、艱難は注げ。汝の意志を、ここに示さん！」

記録の中のエクセリア

「甘い！…足を縛っても、腕が動くことを忘れたか！」

敵：スターダスト・ドラゴン、フォーミュラ・シンクロン

記録の中のエクセリア

「ヘルメス、お前…終末を起こそうとしているソイツをほったらかすのか！…まあいい、お前の答えはしっかり受け取っておく…。だが記憶を消されるのは勘弁願おうか！」

エクセリアはそう言って、光を超える速度でヒュペルボレア造物院から逃げ出した。

記録管理サービス

『異物の侵攻を確認。グレード5抗体プログラムを実行します』

敵：シューティング・スター・ドラゴン、セイヴァー・スター・ドラゴン

エクセリアの声

「斯くて終末は世界を焼き払い、2つの神の激突と、ひとりの灰の激昂が、すべてをひっくり返した」

星海深層：終わる1周目の旅路

エクセリアの声

「物語の起点となった、あの日の惨劇を見るとしよう…」

記録管理サービス

『異物検知…排除プログラム、上書きを行います』

敵：アーセナルバード『ジャスティス』、MQ-101×？（戦場に常に 5 体）

エクセリアの声

「彼らはここで討たれた。だからこそ、再演は正しく行われなければならない」

敵：アーセナルバード『ジャスティス』、シューティング・クェーサー・ドラゴン、MQ-101×？（戦場に常に 7 体）

エクセリア

「同じ終わりは幾度も繰り返される。それが、この物語の宿業だ」

無限輪廻・世界を焼き払う光

記録管理サービス

『グレード 9 抗体プログラムを実行します』

敵：聖珖神竜スターダスト・シフル

終焉の果て

君達は立ち塞がる障壁を打ち破った。

その後、君達は空間内に警報音が鳴り響くのを聞く。

そして、視界が急激に白くなると同時に、君達はダジボス山嶺の 10 合目に相当する位置に飛ばされる。

その空中には、顕現前の、半顕現状態のエクセリアがいた。

（※GM メモ：RP 待機）

記録管理サービス

『まもなく準備が完了します…』

エクセリアの目が赤く輝くと同時に、その姿が光に包まれ見えなくなる。

その光の赤方偏移は、これから起こる破滅を予感させた。

コンテンツ解放：コズミック・クェーサー・ドラゴン討伐戦

報酬

経験点

- ・ 基本：1000 点
- ・ ID 報酬：5000 点

資金

- ・ 基本：4500G
- ・ ID 報酬：5000G

名誉点

このシナリオに名誉点報酬はありません。

成長回数

- ・ 基本：5 回
- ・ ID 報酬：8 回